

# 菊池地域医療構想調整会議 (書面協議)

## <議 題>

### 古賀医院の役割変更について

#### 協議事項について

菊池地域医療構想調整会議（以下、「調整会議」という。）では、菊池地域における「2025年を見据えた医療機関としての役割」や「非稼働病床を有する医療機関（再稼働含）の見通し」等について、これまで協議を重ねて参りました。

この度、厚生労働省が、病院又は診療所であって療養病床又は一般病床を有するものが、地域の関係者間の合意の上、地域医療構想に即した病床機能再編を実施する場合、減少する病床数に応じた給付金を支給することにより地域医療構想の実現に向けた取組を支援することを目的として、「地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業」（別添要領参照）を実施することになりました。

当保健所から各医療機関に対して周知したところ、古賀医院から協議書の提出がありました。

この事業は、地域医療構想調整会議での合意が要件となっていることから、今回協議を行うものです。

つきましては、以下の説明文及び資料を御確認いただき、合意・非合意について御回答いただきますようお願いいたします。

## 議題 古賀医院の役割変更について

協議の内容は、現在19床ある慢性期病床の全てを削減するもので、無床診療所となることにより地域における役割を明確化することができ、地域医療構想の実現に寄与できると考えられておられます。

これまで、古賀医院では、急性期病院からの在宅復帰支援を前提とした患者の受け入れ、かかりつけ患者を中心とした地域住民や近隣介護施設入所者が気道感染症、尿路感染症など入院加療が必要になった場合の治療、終末期患者の看取りを前提とした入院ケアなどを行ってこられてきましたが、看護体制、栄養科のマンパワーが不足した状態が続いたことから、平成30年度時点で稼働病床が6床まで減少しました。

その後、常勤医の増加により、令和2年4月には10床まで回復しておりましたが、今回の事業を契機とし、地域における医院の役割を考えたとき、別添協議書に記載されておりますとおり、病床を削減することで、以下のような地域に密着した医療を提供することができると考えておられます。

- 外来及び在宅治療に専念し、内科診療所として糖尿病・高血圧・脂質異常症など生活習慣病の治療および指導を行う。
- 発熱、腹痛など急性期の病状についてプライマリケアを行い、病状に応じて必要であれば高度急性期病院を紹介する。
- 在宅ケアが必要な住民に対して環境調整、訪問診療を今以上に積極的に行うことで、高齢化が益々進行する現状において地域の健康を守る。

菊池保健所としては、当圏域において過剰である慢性期病床を削減することは、地域医療構想の実現に資するものであり、また、地域に密着した医療を提供することは、地域のニーズを踏まえた診療所の役割として適切なものであると考えております。

つきましては、古賀医院の役割について資料を御確認いただき、医院の担う役割が、地域医療構想の実現に資するかについて御確認をお願いいたします。